

学会便り 第150回春期大会報告

第40回「女性会員の会」報告

The 40th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

完全対面開催となった第150回春期大会中、5月16日（土）12:10～13:10に入退室自由の、第40回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計23名（女性18名、男性5名）。現地参加は21名、オンライン参加は2名だった。参加申し込みが間に合わなかった方、この会の常連から誘われた学生など、飛び入り参加となった方が数名おられた。また、初参加は社会人5名と学生2名の計7名だった。お子さんが3名参加し、にぎやかな時間となった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場にはお弁当と富山県のお菓子（反魂旦、かりんとうまんじゅう、しろえび撰、YUKIZURI、五郎島金時ポッキー（世話人）、加積りんごパイ（差入：谷畑弘之さん）、Maple Castilla（差入：上田 薫さん）、金シャチショコラ（差入：朝田有希子さん））を用意し、食事をしながら会を進行した。

学会託児室を設置し、土日にのべ9名の利用があった。

この場を借りて、大会実行委員長の松田 健二先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申し上げる。

1. 自己紹介、発表報告

初参加者に簡単な自己紹介をいただいた後、3月に日本塑性加工学会のサラダボウルミーティングにて「軽金属学会における男女共同参画活動」の題目で発表した内容を紹介した。

1.1 サラダボウルミーティング報告

サラダボウルミーティングとは日本塑性加工学会での女性の会の名称で、さまざまな情報交換を行っている。今回は男女共同参画活動をテーマに産（株式会社YKK）、学（大阪大学）、学協会（軽金属学会）各分野から発表された。

軽金属学会の発表は筆者が担当し、学会HPに公開されている情報を基に学会の概要、男女共同参画委員会、女性会員の会の活動内容について発表した。

女性会員の会が始まった経緯に加え、託児室の設置や懇親会に会員の子も同伴を認めたことなど、いずれも女性会員の会メンバーから声が上がって講演大会で実施していることについて説明した。また、東海支部女性の会の活動についても発足の経緯と活動内容について説明した。

図1は発表資料の一部で、2002年以降の学会の会員数（棒グラフ）および女性比率（折れ線グラフ）を会員全体、正会員、学生会員別にまとめたグラフである。全体の会員数が若干減少するなかで女性会員比率が上昇傾向にあること、特に女子学生会員が増加傾向を示している点が特徴的である。

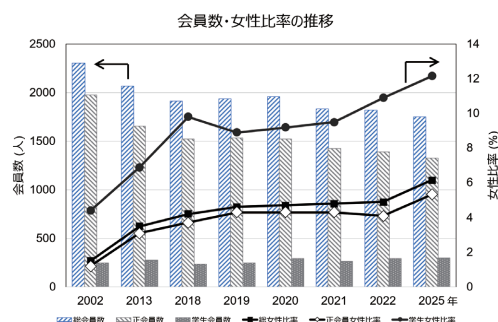
図1 軽金属学会の会員数および女性比率の推移¹⁾

図2 参加者の写真撮影 (2026.5.16)

2. 学会託児室

2011年に託児室の設置・運営を開始した。利用者がいないときもあったが、ここ数年は1～4名/日ほどの利用が続いており、男女問わず利用されている。託児室が常設されていることで学会発表の機会を逃さない会員が増えることを期待している。

3. おわりに

今回の第151回秋期大会でも女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性会員の参加も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、次回も多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>

参考文献

1) <https://www.jilm.or.jp/page-Committee10>